

年頭のごあいさつ

頃

春

不惑の決意



町長 齊藤 讓

新年明けまして、おめでとうございます。平成六年の新春を迎え、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

ところで本年は、光町が誕生して四十周年という記念すべき節目の年に当ります。

幸にして、いま光町は、「活力と調和」をめざした町づくりが、順調に進展いたしております。これもひとえに先人、先輩の方々が、苦難をのり超え、未来を切り開いてきた不断の努力の賜であります。この恩恵を享受する私達

は、ご恩に感謝しながら、この爽やかな風土と揺ぎない基盤のうえに、こころ豊かな「ふるさと光町」を、しっかり構築しなければならぬ責務を痛感いたします。

時に、現今のわが国の状況をみれば政治も経済も混乱、低迷の極に達し、戦後半世紀をかけて築いてきた平和と繁栄が、まさに足元から激しく揺さ振られております。これは、バブルのあだ花に象徴されるように、自制心や節度を失くし経済至上主義に酔い痴れた国家が、いつかは辿りつく道であった

広報委員長あいさつ

一層内容の充実に研鑽



委員長 齊藤 清正

新年あけましておめでとうございます。本年も希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、皇太子殿下のご成婚に国を挙げて祝意を表したところでございました。

更に、「広報ひかり」が千葉県広報紙コンクールに於て、第三位の表彰の栄に浴することができました。この受賞は担当者及び、広

報委員の努力に加え、広報通信員、町民の皆様のご支援の賜物であり、この受賞に慢心することなく、一層内容の充実に研鑽を積む覚悟でございます。

しかし、その反面、バブルの崩壊が尾を引き、経済大国日本は、「不況」という暗く長いトンネルに入っただけで、明るい出口が見えないでいる状態であり

